島根県看護協会情報誌

あかね雲

輝け！新人ナースたち

益田赤十字病院

後列左から　塩満　桜　永嶺円香　成田桂花　河野愛子
青戸宗一郎
前列左から　平谷美仁　品川ちなみ　都野守美樹
田原実可子

奥出雲を走るトロッコ列車

2012.9.28
NO.132

CONTENTS

◆島根県看護協会の主な動き・・・P1
◆理事会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
◆島根県看護協会の基本理念・・・・・・P1
◆日本看護学会－小児看護－学術集会・・・P2
◆委員会活動・・・・・・・・・・・・・・・P3・P4
◆職能委員会活動・・・・・・・・・・・・・・P5
◆医療・看護安全情報・・・・・・・・・・・・P5
◆支部活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
◆ナースセンターだより
看護職のワーク・ライフ・バランス推進のための事業
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
『みんなで話そう 看護の出前授業』・・・P8

湧水（ゆうすい）　地域の医療を担う看護師として

社会医療法人石州会　六日市病院
看護部長　長尾　睦美

本院は県西部地域の医療を守るための病院として、患者様本位の安心安全な医療・看護を目指しています。特に救急医療には力を入れ、職員の育成（BLS・ACLS）に病院をあげて取り組んでいるところです。また、来年2月には病院機構評価ver.6への更新のための受審をして評価を受けます。

昨年11月に介護老人保健施設を併設し、現在病院は一般50床、医療療養60床、施設は強化型老健154床で地域を交えた連携と協働の実践をしています。

この中で看護部は、各種の研修受講等を支援して、地域を守る看護師としての自覚を持てるような魅力ある看護や、病院づくりをしていきたいと考えています。

発行／公益社団法人島根県看護協会
発行責任者／春日　順子　編　集／広報委員会

島根県看護協会の主な動き（7月・8月）

項目	月　日(曜)	実　施　事　項	出　席　者	場　所
島根県関係事業	7月 5日(木)	島根県福祉・介護人材確保対策ネットワーク会議	三　代　理　事	県民会館
	8月 8日(水)	人権・同和問題を考える女性の集い実行委員会	春　日　会　長	県第二分庁舎
	8月 9日(木)	健康福祉部圏域別公聴会	谷　口　理　事	浜田合同庁舎
	8月23日(木)	労働局企画委員会「看護師等勤務環境に関する懇談会」	春　日　会　長	労働局
	8月26日(日)	人権・同和問題を考える女性の集い	春 日 会 長 他	いきいきプラザ
日本看護協会事業	7月12日(木)	拡大医療安全推進会議	三代理事・野津委員	JNAホール
	7月26日(木)	日本看護協会理事会(7/26、27)日本看護協会新会長会	春　日　会　長	JNAホール
	8月 3日(金)	全国職能委員長会	今岡・吾郷・津島理事・加藤	青山ダイヤモンドホール
	8月 8日(水)	都道府県看護協会教育担当者会議	三代・石井理事	JNAホール
	8月10日(金)	都道府県看護協会災害看護担当者会議	徳　若　理　事	JNAホール
	7月19日(木)	日本看護学会-精神看護-学術集会	吾郷学会準備委員長・川合事業局長	佐賀県
島根県看護協会事業	7月 3日(火)	高校生進学ガイダンス・看護出前授業	徳 若 理 事 他	益田東高校7/3・邇摩高校7/11
	7月18日(水)	島根県訪問看護ステーション実地指導(そよかぜの丘)	中川所長・春日会長・村上局長	そよかぜの丘訪問看護ステーション
	8月 1日(水)	ＷＬＢ推進ワークショップ(8/1、2:85名)	WLB推進委員会・労働局他	看護研修センター
	8月 4日(土)	医療安全管理者養成研修修了式(28名)	医療安全推進委員	看護研修センター
	8月 5日(日)	看護師職能Ⅱ領域で働く看護師の研修会(62名)	春日会長・看護師職能委員長	看護研修センター
	8月20日(月)	常務理事会	春 日 会 長 他	看護研修センター
	8月27日(月)	理事会	春 日 会 長 他	看護研修センター
	8月31日(金)	看護管理者・教育者セミナー(協会・連盟合同)	春日会長・松浦連盟会長	看護研修センター

理事会報告

◆第4回理事会報告

【協議事項】

1. 公益社団法人　島根県看護協会各種規程について
2. 平成24年度島根県看護問題議員連盟への要望について
3. 平成25年度看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉等領域）の設置について
4. 公的サービス外で実施されている看護サービス等に関する情報提供について
5. 介護職員等による痰の吸引（特定の者）の実施に関する登録
6. 事業報告（7・8月）

【報告事項】

1. 島根県看護協会の動き
2. 日本看護協会理事会報告
3. 全国職能委員長会報告
4. 都道府県担当者会議報告
5. 第43回日本看護学会
－小児看護－学術集会について

島根県看護協会の基本理念

1. 使命　人々の人間としての尊厳を維持し健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

　・教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質向上を図る
　・看護職が生涯を通じて安心して働き続けられる環境づくりを推進する
　・人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

2. 活動理念　・看護職の力を変革に向けて結集する　・自律的に行動し協働する　・専門性を探求し新たな価値を創造する

3. 基本的戦略　看護の質向上、看護職の働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の3つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の6つの実現手法を用いて、人々の健康な生活の実現を図る者とする。

第43回
日本看護学会―小児看護―学術集会

会長　春日　順子

第43回日本看護学会－小児看護－学術集会をメインテーマ「すべての子どもが笑顔でいるために～今・私たちにできる看護実践～」のもと9月13・14日県民会館で開催し、全国各地から延1,500名の方にご参加いただきました。

多くの人々の幸せを奪った東日本大震災から1年半経ちましたが、この間人々は「子どもの笑顔」やたくましく「生きる力」から、未来を拓き困難を乗り越える大きな力をもらいました。しかし、子どもたちを取り巻く環境は、多くの課題を抱えています。母親の就労と育児、食生活の変化による小児成人病の増加、きょうだい数の減少による人間関係の学びの乏しさ、多くのストレス、児童虐待の問題などがあります。

看護者には、小児看護の実践者として子供や家族が在宅・病院・学校・地域でいつでも、どこでも、だれもが安心して質の高いケアを受けることができるよう、その役割が求められています。

発表演題数は159題となり、入院から在宅看護、看護技術、家族の思い、障がいをもつ児の看護、事故と安全など幅広く報告いただきました。特別講演は、「子どもの痛みのケア」と題して小児看護学の第一人者で兵庫県立大学の片田範子先生に、ご講演いただきました。教育講演では、「眠りが育てる子供の脳と身体」と題して東京ベイ・浦安市川医療センター長の神山潤先生にご講演いただきました。シンポジウムでは「小児在宅支援システムの現状と提案」のテーマで、地域、病院、在宅、専門看護師のそれぞれの立場から提言をいただきました。

最後になりましたが、学術集会開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま方に深く感謝いたします。

委員会活動

“今を担う”“未来を担う”看護管理者教育をめざして

認定看護管理者制度教育運営委員会委員長
秦　美恵子（島根大学医学部附属病院）

島根県看護協会では、これまで認定看護管理者教育のファーストレベルおよびセカンドレベル教育課程を隔年で実施してきましたが、受講希望者の増加に対応するため、今年度からファーストレベル教育課程は毎年開催することになりました。これまでより、ゆとりあるスペースで教育環境を提供し、受講機会も増えます。今年は10月12日からスタートしますが、今後も多くの看護管理者あるいは看護管理に関心のある方にご参加頂きたいと思います。

日本看護協会では、認定看護管理者カリキュラム基準が2012年2月7日に改正されました。これを受けて、委員会では今年度は島根版のカリキュラムの作成を行っています。今回の改正方針は1）時代に即し、実践力を強化できる内容とする2）教育期間のカリキュラム作成およびその運営においての裁量拡大が可能なものとすると示されています。島根の地域性を踏まえ、それぞれの立場で保健・医療・福祉の現状を踏まえながら、質の高い組織的看護サービスの提供ができるための教育について検討を進めたいと思います。

貴方も災害支援ナースとして活躍しませんか！

災害看護委員会　担当理事
徳若　光代

本協会は日本看護協会と協働して「災害支援ネットワークシステム」を稼働させ、現在36名の登録者がいます。昨年の様な災害発生を想定した時、現在の災害支援体制は十分といえません。災害看護委員会では、災害看護研修を通して「看護の力で被災者を支援できる」ことを受講者の皆様に伝えていきます。都合をつけて是非研修を受講してください。

災害支援ナースの登録には以下手順が必要になります。

① 災害看護研修『基礎編』『実務編』の受講

今年度の研修日程

『基礎編』平成24年11月8・9日　看護研修センター

『実務編』平成24年10月3・4日　看護研修センター

② 「災害支援ナース会員登録届」の記入

③ 施設看護管理責任者を通して「災害支援ナース会員登録届」を本協会に提出

④ 登録＝派遣ではなく、皆様の状況に応じた配慮をするのでお気軽に登録ください。

在宅ケア・訪問看護推進委員会より研修会のご案内

在宅ケア・訪問看護推進委員会
委員長　久代　玲子

病院で働く看護師や訪問看護師、また施設等で働く看護師等がお互いに顔の見える関係で講義を聴いたり意見交換することで、お互いの状況を理解し合って切れ目のない看護が提供できることを目指しています。

今年度は、地域で看護をして下さっている方々も参加しやすいように、研修日を土曜日に企画しておりますので、是非多数ご参加下さいますようお願いいたします。

入院時に地域から病院へ送る情報、退院時に地域へ返す看護情報、「病院と地域を“看護”がつなぐ」ために、お互いに求める情報は何なのか、本研修会を通して“看護”を語る会になることを願っています。

テーマ：効果的な退院支援と地域連携の推進
～看看連携の強化～
ねらい：在宅療養を見据えた効果的な退院支援の視点と実際を学ぶ
日　時：平成24年12月8日（土）10：00～15：00
場　所：島根県看護研修センター
松江市袖師町7-11
講　師：角田直枝　先生
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
看護局長　（がん看護専門看護師）

ー働き続けられる職場づくりをめざしてー

社会経済福祉委員長
永田　節子（島根大学医学部附属病院）

昨年度は看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォローアップワークショップで５施設から取り組みを報告してもらい、パネルディスカッションを行った。各施設が抱える問題を強みに変える取り組み、職員が大切にされていると思える職場づくりの報告を聞き、職場の現状を考える機会となった。

今年度の研修会は、高齢化社会の中で「看護職の定着、再就業、職場環境を整える仕組み作り」などをテーマに講師依頼、グループワークの内容を検討している。

新人や子育て世代へのワーク・ライフ・バランスについては、取り組みが行なわれ離職率の低下に繋がっている。今後も、継続して生き生きとやりがいを持って働き続けられる職場環境を職員一人一人が見直し、業務改善や環境改善に向けて取り組むことが必要である。また、退職した看護職への働く場所の提供や再就業へのシステム作りも超高齢化社会の島根県には必要ではないかと思う。今年度もインターネット配信研修が企画されています。11月29日（木）9時30分～16時30分「働き続けられる職場づくり～看護労働のシフトワークの改善～」会員の皆様是非ご参加ください。

「看護師特定能力認証制度」の法制化・制度化の推進について

厚生労働省　チーム医療推進会議

厚生労働省は8月22日、第13回チーム医療推進会議を開催した。看護師の能力を認証する仕組みの在り方について、事務局が試案を示した。

①特定の医行為を法令上位置付ける。②国が指定する機関の研修を終了した看護師は、医師の包括的指示の下、特定行為を実施可、③当該看護師は研修修了の旨を看護師籍に登録され、登録証が交付される。今後は、試案を基に議論され、専門家の関与や、修了者の登録、運用上の課題などが整理される。日看協の大久保清子副会長が委員として参加。

（協会ニュース9月号より）

職能委員会活動

平成24年度保健師職能委員会活動について

保健師職能委員長
今岡　きみ子

今年7月31日「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の改正がなされました。今後、増々少子高齢化が進む中、予防活動の充実が必要であり、高齢者対策、精神保健、難病対策などの個別分野や災害時の被災者支援等にも私たち保健師への活動が期待されているところです。平成15年策定の「地域における保健師の活動指針」は、情勢の変化（保健師の配置先の多様化、市町村合併、災害時等での保健師の役割の認知など）が顕著であり、この指針の見直しが必要となっています。日本看護協会では、保健師活動指針の見直しに向け、会員の意見を反映した保健師活動の方向性を示す指針を国に提示していく予定です。今後、御意見をいただくことになるかと思いますのでよろしくお願いします。

県看護協会保健師職能委員会の今年度の活動目標を「保健師間の連携強化と保健師活動の継承」をとし、活動方針も①大切にしてきた島根の保健活動を継承する　②保健・医療・福祉・産業・教育の場で働く保健師が、一堂に会し情報交換を行う場を設ける　③保健師が所属する団体が連携し、専門性を高めるとしました。具体的には、『保健指導ミーティング』を12月2日（日）出雲商工会館において開催をします。内容は、壮年期の保健指導についての事例報告と講演「効き脳を活用したライフスキル向上」とし、自己及び対象者の思考特性の違いを見極めて、それに応じた保健指導を学ぶこと。あわせて、グループワークにより情報交流が出来るよう企画します。

また、保健師活動調査を11月に実施することとしておりますので、ぜひご協力をお願いします。ホームページでの情報提供を今後も随時更新し情報提供しますので、一度アクセスしてみてください。

医療・看護安全情報

医療安全管理者支援ワークショップ

医療安全推進委員会　担当理事
三代　美知子

今年度、医療安全推進委員会は、リスクマネージャーの交流とフォローアップを目的に「医療安全管理者支援ワークショップ」を4回シリーズで実施しています。ねらいは、「アクションリサーチ法を用い、個々の課題解決に取り組むことで、医療安全管理者の資質の向上を図る」とし、対象は、医療安全管理者養成研修を終了後、リスクマネージャーとしての経験があるかたです。

今年度の受講生は11人で3グループに分かれ、島根大学医学部看護学科の内田宏美教授をはじめ、県内の医療安全管理者及び経験者にファシリテーターとなっていただき、受講生が、抱える課題の本質に気づき、行動計画をたて、実践し、計画の修正をし、再び実践を試み、最終的には、平成25年3月1日に各自の成果を発表する予定です。医療安全管理者として活動されている皆さま、来年は、是非、このワークショップに参加し、実践能力の向上と、更に広いネットワークづくりをしていきましょう。

支部活動

雲南支部活動報告

雲南支部長
長谷川　千代美

雲南支部は、会員数300名、施設数は8(平成24年6月現在)という、県内では小規模な支部です。6月9日に支部総会を開催し、新たな役員体制の下、支部活動がスタートしました。研修会は年2回を予定し、1回目は支部総会前に、島根大学医学部附属病院　腎臓内科　笑い療法士の伊藤孝史先生をお迎えし「笑いの雨が降りますように」という演題で講演をして頂きました。先生のユーモアたっぷりなお話の中に、笑いの効能やコミュニケーションの大切さ、癒しの環境づくりなど、今後の看護に活かせる話が盛りだくさんで、大変有意義な研修会であったと、会員の皆さんから好評を頂きました。秋には「リラクゼーション」を目的とした研修会を予定しています。

また「まちの保健室」を、2か月に1回、奥出雲町「横田蔵市」で開催しています。毎回30～40名の方が立ち寄って下さり、リピーターの方も多く、自分の健康管理の一環として活用してくださっているなと感じます。今後も地域の方々とのふれあいを大事にしながら、活動を広めていきたいと思います。

平成24年度　浜田支部活動について

浜田支部長
谷口　真理子

浜田支部では平成24年6月9日に支部総会を行い新年度の活動をスタートしました。総会後の研修会では「人に地球に優しいものづくり」と題して中村ブレイス株式会社代表取締役　中村俊郎氏の講演があり会員66名、非会員9名の参加がありました。前向きな人生のお話が大きな感動を呼びました。第2回目もアンケート結果を参考に、非会員の方にも多数参加して頂ける研修会を計画したいと考えています。

6月から3月まで常設型『まちの保健室』を開設しています。期間中毎月第2火曜日に2時間ずつ、毎回、役員と会員4名が協力して担当しています。年間の利用者は延べ250人を超えます。リピーターの方も多く、地域の住民の皆様に定着しつつあることを実感しています。

483名の会員同士が意識して繋がりを持てる場が提供できるように、また、地域に看護職をもっと身近に感じていただけるよう、より公益性のある活動を企画していきたいと思います。

ひとりで悩まないで!!
一人ひとりの大切ないのち

9月10日～16日は自殺予防週間

ナースセンターだより

看護職のワーク・ライフ・バランス推進のための事業

事業局長／看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ推進責任者　川合　政恵

県内看護職員の離職率は平成19年頃より年々減少し続けている。このことは各病院における看護職員の働きやすい職場環境づくりのための地道な取組みが続けられていることを示している。看護師がその職務において最大のアウトカムを出し、患者サービスの向上や経営健全化等に貢献するためには、働きやすい職場環境が必要である。その環境づくりには病院管理者・経営的立場にある方たちから、そのことについて理解され、怠りなく支援がなされる必要がある。島根県看護協会が平成23年度から重点事業として取り組んでいるワーク・ライフ・バランス（以下、WLB）推進事業には、病院管理者から事業への参加を支持された11病院（益田・浜田・出雲・雲南・松江支部）が参加している。加えて事業にはインデックス調査のみに参加しWLBに取り組む病院が7病院あり、県内医療機関でのWLB実現に向けた取組みが拡がりを見せているといえよう。23年度参加された医療機関においては、それぞれの病院の医療機能、医療提供体制などに応じたWLB実現のためのアクションプランのもと、24年度も継続して取組みが行われている。その内容は、働き方に対する職員の意識改革、人材育成、労務管理、職場風土、看護サービス提供体制、多職種連携・チーム医療、職務満足の向上等、WLB実現のために注目されるものである。参加されたすべての医療機関における看護管理者の方たちは、自病院のWLBの実態をインデックス調査値から捉え、WLB実現のための戦略の立案・実施にリーダーシップを発揮され取組まれている。

25年3月、WLBフォーラムの開催を予定している。次号よりWLB参加病院の様々な取込みを広報誌「あかね雲」を通して連載で紹介する。

移動就業相談をご利用ください。

島根県ナースセンターに出向くことが困難な地域の看護職者のために、各地域での就業相談を開催しています。

お仕事探しに関することだけでなく、お仕事に関するお困りごとにも対応いたします。お気軽にご利用ください。

相談実績（件）

	4月		5月		6月		7月		8月	
	求職	求人	求職	求人	求職	求人	求職	求人	求職	求人
出雲	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大田	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1
江津	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
浜田	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
益田	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
合計	3	0	2	1	2	2	2	1	2	1

	出雲 毎月（第3木曜日）	**大田** 毎月（第4水曜日）	**江津** 毎月（第3水曜日）	**浜田** 毎月（第2水曜日）	**益田** 毎月（第2木曜日）
就業相談員	木下　愛子	高野　美喜子	高橋　百合子	中島　効子	小河　敬子
時間	13:00～16:00				
会場	県立中央病院 〒690-0061 出雲市姫原4-1-1 TEL.0853-22-5111	大田市立病院 〒694-0063 大田市大田町 吉永1428-3 TEL.0854-82-0330	済生会江津総合病院 〒695-8505 江津市江津町 1016-37 TEL.0855-54-0101	国立病院機構 浜田医療センター 〒697-8511 浜田市浅井町777-12 TEL.0855-25-0505	益田市総合福祉センター 〒698-0033 益田市須子町３－１ TEL.0856-22-7256
実施日	① 10月18日（木） ② 11月15日（木） ③ 12月20日（木）	① 10月24日（水） ② 11月28日（水） ③ 12月26日（水）	① 10月17日（水） ② 11月21日（水） ③ 12月19日（水）	① 10月10日（水） ② 11月14日（水） ③ 12月12日（水）	① 10月11日（木） ② 11月　8日（木） ③ 12月13日（木）

ナースバンクへご登録ください！

求人・求職の登録・検索・紹介依頼がインターネットからお気軽にできます。

e-ナースセンター　検索　http://www.nurse-center.net/

2012年「看護の日・看護週間」事業

『みんなで話そう 看護の出前授業』

7月11日（水）から県内の学校で実施！

【実施校】島根県立邇摩高等学校
（大田市仁摩町仁万907）
【日　時】7月11日（水）
13時15分～15時05分
【講　師】島根県看護協会
会長・春日順子、
常任理事・徳若光代
済生会江津総合病院
助産師・佐々木智恵子
【参加者】3年生　全21人

2012年度「出前授業」の様子

【実施校】島根県立大社高等学校佐田分校（出雲市佐田町反辺1938）
【日　時】7月17日（火）　11時00分～12時20分
【講　師】島根県看護協会　会長・春日順子、常任理事・徳若光代
マザリー産科婦人科　助産師・渋川あゆみ
【参加者】1～3年生　全48人

【実施校】島根県立浜田高等学校今市分校（浜田市旭町丸原46）
【日　時】11月15日（木）13時30分～15時20分
【講　師】島根県看護協会　会長・春日順子、常任理事・徳若光代
【参加者】3年生　全12人

【実施校】島根県松江市立湖南中学校（松江市浜乃木8-2-60）　【日　時】7月18日（水）　13時20分～14時20分
【講　師】島根県看護協会　常任理事・徳若光代　マザリー産科婦人科　助産師・渋川あゆみ　【参加者】3年生200人

主な授業内容

●看護の仕事、看護への道、進路案内、ビデオの上映

●簡単な看護技術や模擬体験

脈拍・呼吸の測定、心音を聴診器で聴く、体位変換、赤ちゃん人形の抱っこ、妊婦ジャケット、高齢者疑似体験など

●看護師を志望した動機について ●看護の日とは／ふれあい看護体験の紹介

●いのちの大切さ・性教育

生命の始まり、赤ちゃんの成長、命がけの出産、避妊法の種類と方法、性感染症の現状と予防、人工妊娠中絶、乳幼児をもつ母親の体験談など

※授業内容は実施校により一部変更する場合があります。

湖南中学校の生徒の感想から

○命のたいせつさの話をきき、自分たちが何兆分の1の確率で誕生していること、同じ命はたった1つであることを再認識させられました。この講話をききながら、大津市の中学生のいじめによる自殺が痛ましいものであると同時に、周囲の思いやりがあったら自殺までに至らなかったのではないかという悔しさが身にしみた。愛する人でなくても思いやりは大事だと痛感させられました。

○私は親とよくケンカをします。ケンカをしたときは、心の中で「うざい、死ね」と思ってしまいます。今日の話を聞いて、親は私のことを大切に思って、うるさく言っていることに気づきました。それなのに私は逆切れをしていましたが、今日の話を聞きながら、親の気持ちを知り、感謝をしないといけないと思い、「生んでくれてありがとう」と今は恥ずかしくて言えないけど、輝く大人になってから、言葉で「生んでくれてありがとう」といいたいです。今日の授業を受けて本当に良かったです。

○今回の話を聞いて、助産師とは命の大切さや素晴らしさに直接関わっていける仕事であると思いました。命は自分1人じゃなく、ずっとつながってきたもの、だからもっと大切にしようと思います。私は将来やりたいことが決まっていません。しかし人と関わる助産師のような仕事があることに気ずき、いろいろな人を笑顔にできるような仕事につきたいと思うようになりました。私たちはまだ子供です。大人になっても子供の考え方の人がいます。でも、いつまでも子供でいてはいけないと思いました。今の思春期が大切であり、いまから1つ1つの行動に責任感をもち自分を強くしたいと思いました。

ホットひといき

フライトナースの活動

島根県立中央病院　**上野　裕美子**

H23年6月より島根県ドクターヘリが運航を開始し、1年で搬送件数は600件を超えました。島根県は東西に長く離島もあり、救急搬送の長時間化と医療の地域格差が問題とされています。ドクターヘリは、へき地の医療を支える手段の1つとして重要な役割を担っています。

私達はフライトナースになるために、ACLS・JPTECプロバイダーの取得や、ドクターヘリ講習会等に参加し、ドクターヘリでの看護に必要な知識と技術を習得しました。

フライトナースは当初6名でスタートしましたが、現在9名で活動しています。要請時は医師1名・看護師1名で出動し、看護師は短時間で情報収集・処置・記録・家族対応・他職種との調整を行わなくてはなりません。そのため、医師をはじめ救急隊など、現場にいるすべての人との協力が不可欠です。フライトナース間でも、質の高い円滑な看護活動ができるように症例検討を重ね、情報共有と問題解決に努めています。今後もさらに自己研鑽し「1人でも多くの命を助け、地域の医療に貢献する」ことを目標に、頑張っていきたいと思います。

INFORMATION
インフォメーション

看護師等の勤務環境等に関する研修

講　　師　福井県済生会病院　畑中美智子
日　　時　平成24年10月19日(金) 13:30～
会　　場　くにびきメッセ　601号

衛星通信対応研修

災害医療と看護－基礎編－

日　　時　平成24年11月8日(木)9日(金)
会　　場　看護研修センター

インターネット配信

働き続けられる職場づくり ～看護労働のシフトワークの改善～

日　　時　平成24年11月29日(木)
会　　場　看護研修センター

これからの社会と看護職が辞めない職場づくり「雇用の質」の向上をめざして

講　　師　西村　周三氏
(国立社会保障人口問題研究所所長)
日　　時　平成24年12月1日(土)
会　　場　看護研修センター

効果的な退院調整と地域連携の推進

講　　師　角田　直枝氏
(茨城県立中央病院・茨城がんセンター看護局長)
日　　時　平成24年12月8日(土)
会　　場　看護研修センター

支部別・職員別会員数(合計)
(平成24年9月6日現在)

合計
保267・助214・看4,635・准246
計5,362

編集後記

残暑が続いていますが、夏の疲れは引きずっていませんか?

食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋を堪能し、心も体もリフレッシュしましょう。

〒690-0049　松江市袖師町7-11　TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
http://www.shimane-kango.or.jp　E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp